

京都SDGsパートナー登録証



浄土宗宗務庁は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

至らぬ自己を謙虚に見つめ、他者の多様性を尊重し、共に悩み、考え、生きていくことが凡夫の慈悲実践であり、目の前にある「困りごと」を放っておけない本宗の理念は、SDGs実践につながっています。事業所として出来る環境問題等の社会課題に取り組み、さらに全国各地の本宗寺院や僧侶が取り組むSDGs活動の支援を推進していきます。

●SDGsに関する重点的な取組●

【経済】環境負荷低減と業務効率化のため、オンライン化を推進します。具体的には、オンライン会議システムの活用や、申請・経費精算等の事務手続きのペーパーレス化を行い、人や紙の移動によるCO₂排出量を削減します。また、ESG投資としてのグリーンボンドやサステナビリティボンドへの投資を推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

【社会】性別を理由にした待遇差や業務分担は排除し、ジェンダー平等で誰もが働きやすい職場環境を整えるため、職員を対象とした職場環境改善アンケートを実施し、具体的な改善策を策定・実行しています。今後も、定期的なアンケートの実施や啓発活動を通じて、より良い職場環境づくりとジェンダー平等の実現にも貢献していきます。

【環境】本宗は、環境負荷の低減を目的に、以下の取り組みを実施しています。会議資料の電子化を推進し、紙の使用量を大幅に削減するとともに、施設内の照明をLEDに切り替え、電力消費量の削減に努めています。さらに、職員一人ひとりが環境問題に対する意識を高め、リサイクルや省エネを日常的に実践しています。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

本宗では、寺院等が所有又は管理する文化財を保護する宗宝保護制度を設け、文化の継承や、浄土宗にとってかけがえのない貴重な文化財の保護に取り組んでいます。また、公益財団法人浄土宗ともいき財団と協働し、地域活性化などの社会貢献活動に取り組む全国の寺院・僧侶を支援しています。

※記載の取組内容やその効果、登録者自体を保証するものではありません。

登録番号 00473

浄土宗宗務庁

登録期間 2024年11月15日 ~ 2026年11月14日



京都超SDGs
コンソーシアム



京都市
CITY OF KYOTO

京都SDGsパートナー制度は、オール京都でSDGsを推進する「きょうとSDGsネットワーク」を構成する制度の一つです。SDGsの社会実装を目指す産学公連携組織「京都超SDGsコンソーシアム」と京都市が連携し、実施しています。

